

第 58 回 外 語 祭

去る 11 月 1 日、2 日の 2 日間にわたり第 58 回外語祭が開催されました。1 日目には、7 言語による朗読発表会や外国人留学生対抗漢字クイズ大会など外国語大学ならではのプログラムと共に、音楽ライブ、ファッションショー、お茶会など様々な催しが行われました。また、ホームカミングデイも行われ、卒業生が久しぶりに学び舎を訪れ、楽しいひとときを過ごしました。2 日目は、時津町龍踊り保存会の皆様による龍踊り等地域の方々との交流の輪を広げるプログラムで賑わい、SONY ボーカルオーディションでは本学学生が見事優勝を勝ち取りました。また、本学フラメンコ部やダンス部など、各サークルが日頃の練習の成果を披露し、盛況のうちに幕を閉じました。企画や運営に携わった学友会と学園祭実行委員の学生の皆さん、たいへんお疲れ様でした。ご協力いただいた地域の皆様、学内外の関係者の皆様に感謝いたします。(学生支援室 学生係)



ホームカミングデー

長崎外国語大学・長崎外国語短期大学において 2008 年 11 月 1 日(土)、「長崎外大ホームカミングデー」



2008 卒業者の「集い」を開催いたしました。在学生による受付に始まり、チャペルでは久しぶりに斉唱する賛美歌に学生時代を思い出し、また旅程管理主任者(ツアーコンダクター)資格取得学生によるキャンパスツアーではめざましく発展した母校に感嘆し、笑い声も絶えないひと時となりました。



長崎外大ホームカミングデー 2008

当日は「第 58 回外語祭」と同時開催ということもあり長崎県はもろろん遠くは愛知県から、また第 1 回生から昨年 3 月に卒業した方々まで 60 余年にわたる外大の卒業生の集いとなりました。ご出席いただきました皆様方にあらためてお礼申し上げます。なお、当日の様子は次の URL <http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/oshrase/hcd2008.html> でご覧いただけます。

(総務課 企画広報係)

卒業生還暦記念旅行

幸せなるかな長崎路

昭和 43 (1968) 年度 第 18 回卒業生 安田博子

『還暦は、長崎で一緒にお祝いしよう』仲よしグループの誰からともなく声があがって 2 年目、待ちに待ったその時を迎えた。東京、大阪、熊本、宮崎、鹿児島、福岡から総勢 7 名が参加。

2008 年 11 月、母校へ電話。実に 40 年振りである。熱心に勉強に励んだわけではないが、母校への想いはまた別である。何しろ幹事は初めてという私。恐る恐る受話器を耳にすると何ともあたたかい親しみのある声がそこにはあった。キャンパス見学をお願いすると「こんなに嬉しいことはありません。」と快諾してくださった。この返事に感激した翌日、速達が届く。見るとそれは長崎外語大の封筒。昨日の電話の主 I さんからだ。学校案内や広報誌に加え丁寧な手紙まで添えられていた。



大きな節目の記念すべき同窓会。皆に心から楽しんでもらえるか、喜んでもらえるかと心配でならなかったが、一本の電話、一通の便りのお陰で「きつと、大丈夫」と、心が軽くなっていたのである。

11 月 16 日、いよいよキャンパス訪問。泉町と同様、坂の上。飛び込んできた



立派な建物に目を見張った。校舎もさることながら学生寮もある。泉キャンパスの寮は、相部屋であり、モールス信号が使われていたのですから。母校の発展はこの旅の何よりの贈り物でありました。

また、この日は検定試験実施中にもかかわらず、企画広報の Y さん、同窓会事務局の D さんお二人で案内してくださった。恩師のこと、泉キャンパスでの出来事など話は尽きず、気さくに沢山の写真まで撮っていただき、楽しい時を過ごすことができた。

新しい、嬉しい出会いから始まった今回の旅、卒業後は別々の道を歩いてきたが、久しぶりに会っても時間の空白を感じることもなく、すぐに昔の仲間意識を取り戻せるのは不思議というほかない。念願だった長崎の地で、仲間と共に祝うことができた還暦。今回は一緒にできなかった友も共に喜んでくれた。ありがたいことだ。貴い人生の年輪をひとつ、またひとつ…共に加えていきたい。あの人、この人への感謝、どうあらわしていいか。このうえは、これからのその日その日を大切にしていきたい。

みんな、みんな、ありがとう。

就職活動報告

今回は、初めて体験する就職活動の中で試行錯誤を繰り返しながらも夢を掴んだ学生達の逞しい姿を紹介します。

厳しい状況の中でも学生たちは自らが希望する進路に向けて地道に就職活動が続けています。キャリア支援室ではこれからも学生達が社会に踏み出す新しい一歩を支援していきたいと考えています。

(キャリア支援室)

苦手を克服して



短大 英語学科
2年 上杉友美

私は短大で勉強してきた英語、韓国語などを生かせる仕事に就きたいと思い、2年生から本格的に就職活動を始めました。実は私は面接がすごく苦手でした。一社目の面接で思うように話せず、自信を無くしたまま次の企業を受験しようとしていた時、ある記事を目にしました。「面接では

『暗記したような、マニュアルのような話をするな』とよく言われますが、「面接が苦手な人は暗記しても良いわけで、暗記していかないように見せれば良いのです。例えば、俳優は台本を暗記して、その役になりきります。あなたは『俳優』だと思ってください。なりきってしまえば怖いことはありません。」これを読んで私は台本を作ってしまったえばいいんだ! と思い、質問内容を想定して自分なりの答えを用意し、繰り返し練習しました。一次面接を無事通過できたことで、だんだん自信がついてきて面接が怖くなくなっていました。二次面接では、事前に企業の施設を隅々まで見てまわり、気付いたことを頭の中に整理しておいたことで、自信を持ってたくさんの提案をすることができ、熱意が伝わったのではないかと思います。インターネットで企業について調べたり、実際に利用してみるなど、受験する企業の研究をしておくことも大切だと思います。

周りの人々に支えられて



英語 イギリス文化コース
4年 福 晴揮

長崎県警察官への合格は、確実に私一人だけの力によるものではありませんでした。両親、友人、キャリア支援室の先生方には心から感謝しています。警察官に合格したことは、私の夢の実現だけでなく周りの人々を私を支えてくれていたということに私に気付かせてくれた良いきっかけになりました。

二次試験の体力試験。トレーニングのしすぎで足を痛めて不安だった私を毎日励ましてくれた両親、友人。この励ましにより試験は上手にいくことができました。

そして最終面接。最終面接まで体力試験が終わってからの一週間、キャリア支援室の先生方は、面接の苦手だった私の練習まで毎朝9時から面接の練習をしてくださいました。この練習により私は少しずつ自信をつけることができ、最終面接は、胸を張って精一杯受けることができました。

これらの支えが私の夢の現に結びついたのです。この支えをくださった人たちとの

出会いがあったのも長崎外国語大学に入ることができたおかげです。後輩の皆さんも、私と同じように就職活動の中で周りの人々に助けられ、またそのことに気付く日がくると思います。それらは必ず皆さんの夢の実現に結びつくと思います。頑張ってください。

日々の出会いに感謝して...



英語 アメリカ文化コース
4年 白井志歩

この度、私は大阪府の中学校英語教員として採用されました。これも、ご指導いただいた先生方や友達の支えがあったからだと感じております。教員採用試験の勉強は、真に己の

戦いでもありました。長期休暇には、ほぼ毎日のように図書館に通い、勉強漬けの日々でした。気づけば、長崎から大阪に向かう途中、「もう、無理」と口にしていただけのを今でもはつきりと覚えています。しかし、休み時間や放課後など、模擬授業の練習をする時、私の横にはいつも教職の仲間がいてくれました。お互いに遠慮せずに指摘しあい、日々高めあうことで自信ができました。

私の就職活動は、入学当初からスタートしていたといっても過言ではありませんが、この4年間の「出会い」に感謝しています。4月からまた、生徒を前に授業をしていくわけですが、この4年間の経験をばねに、初心を忘れず、日々自分を高めながら気持ちのこもった授業をしていきたいと思っています。

♪おすんでひらいて♪

国際交流おにぎり大会



2008年12月、学生食堂において「国際交流おにぎり大会」を開催し、留学生

と日本人学生、学長、教職員あわせ50名ほどが集まりました。

おにぎりを通して日本の食文化を考えようと、この会を企画した学生制作による“おにぎり紙芝居”も披露。参加した留学生の中にはおにぎり作りは初めてという学生も多く、用意した10キロのお米はわずか20分ほどで約180個のおにぎりとなり、みんなで作ったおにぎりをほお張りしました。

おにぎり大会の様子は長崎の地元ケーブルテレビで放送されました。

(総務課 企画広報係)

留学報告

vol.6

フランス語フランス文化コース
3年 吉留三香子

私はフランスの大西洋に面するラ・ロシエルという港町のラ・ロシエル商業専門大学で1年間交換留学生としてフランス語を学びました。私が約1年間通った思い出深き学校は大部分をフランス人学生が占め、正規学生・留学生合同のクラスで毎日商業や経済学といった授業が開講されています。外国人学生はそれらの授業と並行してフランス語の授業も受けることができ、私のプログラムはコーデイナーと相談して後期から正規学生と共に授業を受けることができるものでした。私はマーケティング、国際経済、環境学を受けていましたが、どれも1回の授業では中々ついていけず、先生方に交渉して複数の授業を受けさせてもらいながら過ごしていました。多くのフランス人や他の留学生、友人に恵まれ、フランス語にも慣れたかな?と思いはじめた頃、コーデイナーから劇のクラスを受けないか



と言われました。そのクラスはスピーチの為の体づくりと言われましたが、始まってみると本業の先生の「1・2・3ポン!」の合図でグループで即興演技をしなければならなかったのです!もちろん初体験でしたが、恥ずかしがつている暇も3秒しかなく: : : かつしの想像力で動きまわりました。しかし待っていたのは厳しくも優しいクラスメイトからのダメ出し。複数の人の打ち合わせのない演技では、一人で動くだけでは何も伝わらない。この授業で瞬時に今、自分に何が求められているのかを把握することの意義を痛感し、以後たとえ些細な場面でもそれは重要なことだと留学生活の様々な体験を経て気付かされました。その授業は8回で幕を閉じてしまいました。が、素晴らしい講師と最高の友人達の中で人生で忘れ難き真冬の温かな授業でした。

加だったもので、クラスに馴染めるか不安でしたが、みんな優しく接してくれてすぐに仲良くなりました。授業もスペイン語のみで進むので、最初は大変でしたが、すぐに慣れて楽しめるようになりました。語学学校にはメキシコ人のための日本語のクラスもあり、その生徒達とお互いの言語を教えあつたりしました。留学をして自分のどこが変わったかと聞かれれば、精神的に凶太くなったことだと答



スペイン語スペイン文化コース 3年 東野文孝

私は2008年2月から7月までの約半年間メキシコのグアナフアトに留学しました。グアナフアト大学付属の語学学校で、外国人向けのスペイン語クラスで勉強しました。日程的に少し遅れての参

えます。外国で外国人として暮らしたので、自然とタフになれます。

もし今留学するのを迷っている人がいたら、私は絶対に行くことを勧めます。私自身たった半年でしたが、人間的にも語学の面でも計り知れないほど成長できました。そしてそのサポートしてくれた大学、先生、家族など、みんなに感謝しています。

日本語日本文化コース 3年 蓋延威

サッカーがくれたもの — 友情 —

2008年4月、中国の遼寧省出身の僕は日本語日本文化コースの3年次に編入し、長崎外国語大学での学びをスタートしました。と同時に、サッカー部に入って日本人の学生たちと一緒に汗を流しています。2008年7月には、学校を代表して鹿児島まで試合にも行きました。やる気満々の気持ちで、友だちと肩を並べ、優勝を目指して一生懸命戦いました。でも、正直に言うと勝利のためではなく、友情のために頑張る気持ちになっていました。試合は勝っても勝たなくてもいいと思っていました。僕の中で「友情」

が試合を超えるものになっていたので。



日本へ着たばかりの僕がサッカーを通じてサッカー部の皆さんの日本人学生と知り合いました。振り返ってみると、そこでの生活は僕の人生にとってかけがえのない貴重な留学の始まりでした。一人暮らしをして、時々孤独感を感じていました。しかし、みんなを知ってから、留学の孤独がだんだんなくなってきました。留学の道を歩むためには、苦勞を厭わず、挫折を恐れず、孤独に耐えられる強い精神力が必要だとわかってきました。しかし、このような苦勞と引き換えに、チームのメンバーは自分の留学生活に大きな喜びと充実感を与えてくれました。これからもさまざまな人と友だちになって友情を広げていきたいと思えます。

学生寮 アンペロス通信



2008年7月、夏休みが始まる直前で帰省する学生や年度末で帰国する留学生が多く見られる頃、私は管理人としてアンペロス寮にまいりました。管理人の仕事がスタートして間もなく「秋学期入学生を迎える準備をして欲しい」との指示「頑張ります」と言う私はその場の雰囲気に合わせて

ただでした。そして9月。入寮に向けて準備万端整った寮に入寮する学生さんの姿を目にした時には、今までの不安や苦労がどこかへ飛んでいきま

した。「ニイハオ、ニイハオ」用意していた言葉や留學生は皆笑顔で応えてくれました。つい、得意になつて声を掛



クリスマス会 2008.12.12

けて気がつくとも午後七時。思えば、留學生に笑われていたのではないかと。翌朝、食堂で2人組の寮生が近づいてきたので張り切つて「ザオシャンハオ」と声を掛けると戸惑った顔で「私、日本人です。」(笑)。そうこうしているうちに10月になり、新たな気持ちで秋学期を迎え、事務室は久しぶりに活気を取り戻しました。さて、この半年の間にもアンペロス寮では様々

な行事などが行なわれました。新入寮生のための歓迎パーティーをしようと呼びかけたところ、皆が食べ物や飲み物を持ち寄つて、見る間に手作りパーティーがオーブンし「熱烈歓迎」。互いに心を通い合わせることができて楽しい一時を過ご

しました。年末のクリスマス会のお楽しみは「カラオケ」と「ビンゴゲーム」。なんと、白菜の中から一等賞が現れた時は「サプライズ!」。寮母さんの可愛いサンタ、大学から男性職員の大きなサンタが登場して時の立つのも忘れて最高に盛り上がりました。12月は他にもフリーマーケット、1月にはヘアメイク教室、そして毎週月曜・水曜は英語教室、土曜は学習相談などが開催されており、楽しい寮、学べる寮として活動しています。

卒業生は青春の思い出が詰まった寮生活に別れを告げ、この春から社会人となります。寮では、卒業生の前途にエールを送り皆で門出を祝いました。4月には新入生が入寮してきます。元気な姿に会えることを楽しみに、今後もアンペロス寮では「魅力ある寮とは」をテーマとしてその課題に少しでも近づこう、職員一同努力していく所存でございます。皆さま、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。(アンペロス管理人 田口敏弘)



編集後記

3月。長崎では女の子の健やかな成長を願い桃の節句には「桃カステラ」がかかせません。桃の形にかたどった長崎名物のカステラのうえに砂糖細工を施し桃に見立てたもので、長崎ならではの縁起物の菓子です。長崎のカステラやさんにこの「桃カステラ」が並ぶ季節、私たちは卒業式、そして4月には入学式を迎えます。

ある人が「出会いに偶然はない」と言いました。卒業していく皆さん、この丘の上のキャンパスを通じて出会った様々な「出会い」を大切に、これから始まる新しい生活、新しい出会いの中で多くのことを学んでください。そして、いつか学生時代を振り返ったとき、この丘の上の母校を、長崎を思い出したとき、再びキャンパスへ足を運んでくれることを願っています。キャンパスは、そして私たちは、皆さんの帰りを待っています。外大は毎日がホームカミングデーです!

最後に、「ぶどうの樹」第6号も皆さまのご協力のもと、無事発刊の運びとなりました。ご協力いただきました皆さまに感謝いたしますとともに、今後も多くの人とのつながりを大切に、心に残る広報誌作りに励んでまいりたいと思います。ご意見・ご感想などございましたら、総務課企画広報係までお知らせ下さい。

なお、本号より縦書き表記は読みやすさにウエイトを置いて、算用数字を使用することにいたしました。

企画広報係

サークルさるく vol.3

軽音楽部

代表 大学3年 高山 龍矢



こんにちは!軽音楽部です。私たちは主に学内、学外でバンド活動を行っています。

いつも活動している場所は、4Fホール横、アンプ、グランドピアノ、ドラムセット完備の広さは約24帖の音楽室です。音楽室の窓からは、外大の庭を一望できます。そんな一室でみんな楽しく練習しています。定期演奏会や外語祭でのライブイベントなど、楽しいイベントも盛り沢山です。気になる方は一度音楽室に足を運んでみてください。初心者でも経験者でも大歓迎です!お待ちしております!

野球部

代表 大学3年 西岡耕太郎



私たち野球部は週に2回、グラウンドで楽しく活動しています。休日等は他大学や社会人チームとの練習試合を催し、県外の大会にも積極的に参加しています。

部員は一人一人、個性があり学年関係なく皆仲が良いです。野球の向上だけでなくチームワークを学び、人間としての成長も図れる場でもあると思います。興味のある方、未経験者でも大歓迎です。野球を通じて知らない自分自身をを発見できるかもしれませんよ。